

## みせ麻里市議会議員の "ひとこと" ⑭

経済状況が不安定としながら約4億円の事業をコロナ禍で着工するべきではないと反対してきた、郷土博物館の常設展が4月1日にリニューアルオープンしました。

当日は小中学生のジュニア学芸員が展示場6カ所に待機して来場者へ展示の説明を行っていましたので、展示物を良く観ることができ、出口ではクイズ形式の紙があり、もう一度観て回りました。

キティ台風後の堤防建設促進運動や、干拓反対の陳情署名や決議文を知り、埋め立て工法の模型やVTRを初めて見ることで新鮮でした。

展示に欠けて残念に思うことは、戦災について終戦の日を現した絵のみなこと。浦安市内の空襲被害などを後世に伝える役割を博物館で担っていただきたいと思えます。

みなさんもぜひ観ていただきご意見ご要望をお寄せ下さい。

## みせ議員の必勝を期して！

4期16年市民の声を市議会に送り届けてくれたみせ議員が5期目の当選を目指して奮闘中です♪ 世の中がきな臭くなって来ました。ロシア、中国、北朝鮮の脅威が叫ばれる中で、敵基地攻撃能力戦力強化が叫ばれ、大軍拡増税が進められようとしています♪

本来、政治の役目は国民の生命と暮らしを守る為であり、戦争で国民の生命財産を犠牲にするものではありません。地方議会も市民生活を豊かにし、健康で文化的な生活を実現するものでありますが、現実には福祉予算が年々切り捨てられて来ました！

健康保険料、介護保険料、年金保険料などの値上げが続けられて来ました。更に電気ガス水道などの公共料金の値上げ、食料品の値上げなどで生活は苦しくなるばかりです。

市民が主人公の市政を実現する為にも、みんなの大きな力で、みせ議員を市議会に送り出そうではありませんか。ぜひ皆様の大きなご支援を宜しくお願いします。

浦安市北部後援会 尾崎 行雄

## 映画「チャップリンの独裁者」はいう いま、戦争させない、平和のために闘うとき、と！

私が、「チャップリンの独裁者」を観たのは錦糸町の本所映画館だ。高校生のときだから、60年以上も前のことになる。

「チャップリンの独裁者」は、チャーリー・チャップリンが製作・監督・脚本・主演（2役）して痛烈に独裁政治を批判した映画だ。チャップリン初のトーキー作品で、1970年に上映された。1939年9月、ドイツがポーランドに侵入し、第二次世界大戦が勃発したその月にこの映画の撮影を開始したという。ドイツがフランスを屈服させた1940年に完成したそうだ。第二次世界大戦初期のドイツが破竹の勢いで侵攻している時代に、ヒトラーを戯画化したこの映画は、製作中に脅迫が絶えなかったという。だが、チャップリンの真理を求める勇氣、戦争をする者への怒り、平和と自由のために闘う姿勢を揺るがすことはできなかった。

独裁者ヒンケル（ヒトラーを風刺している人物）と瓜二つの顔をしていたために間違えられた床屋（チャップリン）が、兵士たちの前で演説する3分35秒のラストシーンは感動的だ。「兵士よ。奴隷を作るために闘うな。自由のために闘え。……今こそ、闘おう。約束を実現させるために、闘おう。世界を自由にするために。国境のバリアをなくすため。欲望を失くし、嫌悪と苦難を失くすために。理性のある世界のために闘おう。科学の進歩が全人類の幸福へ導いてくれる世界のために。兵士たちよ、民主国家の名のもとに、みんなで一つになろう。」

日本が再び戦争できる国に変えられようとしている今、「チャップリンの独裁者」は私たちに、黙ってはいけません、声を上げろ、闘えと呼びかける。いま闘わなければ、子どもたちに平和を渡すことができなくなる。衆議院千葉5区補欠選と浦安市議選での、私たちの1票が「戦争させない、平和な日本」にすることになる。さいとう和子さんを国政に、みせ麻里さんを浦安市政に送り出すことが、戦争国家づくりにひた走る岸田政権に痛打を与えることになる。後援会のみなさん、支持を広げるために頑張ろう！

日本共産党浦安市北部後援会相談役 七里 一司



撮影：Hさんより

### 会報『境川』について

北部後援会会報『境川』をご愛読いただきありがとうございます。選挙応援の意味合いもあって、ここ暫くの間、『境川』を2ヶ月に1回のペースで発行してきましたが、4月以降は3ヶ月に1回の季刊になりますので、ご了承ください。必要に応じて臨時特別号を発行します。

北部後援会役員会

### 川柳三題

金まみれ金金の五輪かな  
民の声聴く耳持たぬ聞く力  
財布泣く瓦斯に電気に食糧に

投稿～浦野 安雄

### 北部後援会会員募集中です！

いつでもお声掛けください。

047-354-9269（みせ麻里）